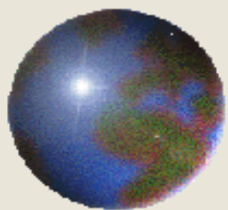


GP-Chem共催 講演会



Professor Marie-Aude HIEBEL

Institut de Chimie Organique et Analytique, Université d'Orléans (France)



Fused-nitrogen Containing Heterocycles: Promising Compact Organic Fluorophores

日時：令和5年11月16日(木) 15:00~16:30

場所：理学研究科 化学系講義棟 1階 第4講義室 (I-23)

Hiebel准教授はケミカルバイオロジー分野における主要なツールになっている低分子蛍光色素の開発に先進的な研究を展開している若手女性研究者です。フランスの研究費助成機関CNRSの短期海外派遣事業の支援を受けて来日された機会に、仙台でのご講演をお願いしました。芳香族複素環蛍光色素の中でも、縮合トリアザペンタレンは小さなサイズ、大きなストークスシフト、ソルバトクロミズム、および可視スペクトル全体に広がる発光波長などの興味深い特徴を示しますが、これらの合成を革新的なニトレンの供給源の開発に基づき実現しています。本発表では、これらの研究成果を紹介して頂きます。

連絡先：東北大学 大学院理学研究科 化学専攻 寺田 眞浩 内線 6602